



第 1 4 号 児童数 716 名  
令和 6 年 3 月 1 5 日  
飯塚市立立岩小学校  
校長 末永 喜美子

## ご卒業おめでとうございます



6 年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今年はコロナ感染予防による活動制限がなくなり、学校もいろいろな活動が以前のようにできるようになりました。そのような中、みなさんは立岩小学校のリーダーとして、1 年生のお世話や、立岩小学校をよりよくするための委員会活動、クラブ活動での下級生の指導など、本当によく活躍し、学校全体を引っ張ってってくれました。長崎で学んだ戦争の恐ろしさと平和の大切さについて、内容や表現の仕方を工夫しながら全校のみんなに伝えました。平和を大切にするためには、まずは友達を大切にすることであるとメッセージを送りました。また、学年集会「チャチャチャフェスティバル」では、自分の特技を披露したり、演技している友達を温かく応援したり、お互いの良さをわかりあい、学年全体の「絆」を深めました。素敵な素晴らしい仲間です。合唱にも熱心に取り組み、みなさんの美しい歌声に下級生は、「6 年生みたいに歌えるようになりたい」と憧れを持ちました。その中で、代表のみなさんが N コンに出場し、見事銅賞を受賞するという素晴らしい経験をしました。仲間と共にによりよく育ち、お互いの良さを認め合いながら伸びていったみなさんでした。いろいろなことにチャレンジしてがんばりました。共に学び合った仲間との絆は一生の宝物です。

さて、6 年間の全教育課程を修了し、中学進学という未来への第一歩を踏み出しました。将来の夢に向かって、いろいろなことにチャレンジしてください。みなさんはそれぞれ素晴らしい夢をもっています。立岩小で学んだことや友達との友情を大切に、中学校生活を充実させてください。

保護者の皆様、6 年間本校教育に対してご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。職員一同感謝申し上げます。これからも立岩小学校から卒業生のみなさんの活躍を応援しています。

## 仕事について、先輩に学びました 夢に向かって頑張っています

2 月 2 8 日に、保護者や地域で働く方を G T に招聘して、仕事についてのお話を聞きました。助産師、建築会社、測量士、美容関係、消防士、警察官の方々に、仕事についたきっかけや仕事のやりがい、苦労などについて話していただきました。それぞれの職業のプロのお話を子ども達は真剣に聞いていました。「ありがとう」と感謝された時にやりがいを感じる。挨拶、礼儀、整理整頓、時間を守るなどの基本的なことが大切。いろいろな経験を通して失敗や成功を繰り返して夢を実現させてほしいなどのメッセージをいただきました。お話しいただいたことを心に受け止めて、夢に向かってがんばってください。

ゲストティーチャーの皆様、ありがとうございました。



## 6 年生ありがとう集会

1 日に 6 年生ありがとう集会があり、今までお世話になった 6 年生に、学年ごとに「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えました。どの学年の発表も心温まる素敵な発表でした。

1 年生は入学してから優しくお世話をしてもらった感謝の言葉と、6 年生大好きという気持ちを込めて、「きらきら星」の合奏と、「虹」の歌の合唱をプレゼントしました。

2 年生は、6 年生から学んだことについて発表しました。その中で、「6 年生は歌が上手なので 6 年生みたいに歌いたいです」と発表し、「君に」と「いつまでも友達」をととても美しい声で歌いました。

3 年生は劇をしました。二人の司会者が出て来て、「街角インタビュー、6 年生の素敵なお話」を 3 年生ニュースとして放送する楽しい劇でした。そしてみんなで「ありがとうの花」を歌いました。

4 年生は、それぞれのクラブ活動ごとに、6 年生の素敵なお話とお世話になったこと、感謝の気持ちを伝え、「トゥデイ」の合唱をしました。

5 年生は、感謝の気持ちを「君をのせて」の合奏で伝えました。難しい曲を、感謝の気持ちを込めて上手に演奏しました。

合唱クラブは 6 年生と一緒に「明日を信じて」を歌いました。6 年生が合唱クラブの下級生を温かく包み混むような優しい歌声でした。

6 年生は在校生に、来年は創立 1 5 0 周年を迎えるので、しっかり頑張ってお返しと伝え、「旅立ちの日」の美しい歌声を体育館に響かせました。そして最後には、全校のみんなで「ふるさと」を歌いました。6 年生は、下級生の憧れの先輩でした。みなさんが築いた伝統をしっかり受け継ぎます。6 年生のみなさん、ありがとう。



## 命の学習 「ひまわりの種」による命のバトンリレー Oh♡ふくろうの会

1 1 日に Oh♡ふくろうの会の方の「ひまわりのおか」の絵本の読み聞かせを通して命の大切さについて学びました。「ひまわりのおか」は、1 3 年前の東日本大震災の津波で犠牲になった、石巻市の大川小学校の児童のお母さんたちが、わが子への思いを絵本にしたものです。わが子への思いをこめてひまわりを育てたお母さんたちの思いを通して命の大切さについて考えました。そして、大川小学校のお母さんたちが育てたひまわりから命をつないできたひまわりの種を、全員にプレゼントしてもらいました。また、当時、福島県で被災した江崎さんが地震が起きた時の様子を話してくださいました。原子力発電所の事故のため、福島から離れることになり、「子どもの命を守るためなら動けるし決断できる」と、子どもを思う親の気持ちを話してくださいました。お話を聞いた後に、「親に反抗しているけれど、ありがとうを言いたい」「母の気持ちがわかったので親に感謝したい」「当たり前前ではないことが分かった」「いつも普通に学校に来て楽しく過ごしていることに感謝したい」など、多くの子どもが感想を発表しました。いつも育ててくれている親に感謝、友達をはじめ自分を支えてくれている人に感謝、毎日元気に過ごせていることに感謝。そして、このような感謝の気持ちを日頃から言葉で伝えられる素直な心を大切にしたいですね。

